



「総合的な学習の時間」 キャリア教育 夢実現プログラムの取組

本校では、義務教育を終える中学校3年間で、将来の夢を「探す・描く・語る」夢実現プログラムの取組をキャリア教育の各学年の指導段階に応じて、系統的に進めています。これまでは、社会人からの学びの機会として、宿泊体験（1学年）・職場体験（2学年）・福祉体験（3学年）を企画しておりましたが、昨年度からコロナ禍で体験活動を中止しています。しかし、本年度は、コロナ禍での感染症対策の浸透と徹底した環境整備を進め、2学年と3学年では、プロの職業人や地域人材を活用した取組を行うことができました。職業のプロの講話や人生の先輩となる地域人との触れ合いは、主体的に自分を見つめ、将来の夢を考える貴重な学びの機会となりました。また、1学年も地域の方々の見守り活動の協力を得て、一本松公園への鍛錬遠足を企画しておりましたが、緊急事態宣言中となり今回は中止としました。校内で行った学校生活向上研修では、「あいさつ」や「黙働掃除」、「対話活動」等、学校生活の基盤づくりに取り組み、社会人に必要なスキル向上を目指しました。11月には、この学びをつなげる「夢実現講演会」を予定しています。

1学年「学校生活向上研修」



実行委員を中心に活動が行われました。全体指導後の体験演習では、自己の改善点を見つめ、求められる姿に答えようと、素直な向上心を高めて取り組んでいる生徒たちの姿がありました。取組後のあいさつでは、「〇〇先生、さようなら」と、名前を呼んできちんと立ち止まり、笑顔のあいさつが増え、学びを実行する行動力に感心しています。

3学年「福祉講座」「地域講演会」

活動1日目には、日本青少年赤十字の講師による防災講座と救命救急法の演習体験、2日目は、宇美町社会福祉協議会の講師による福祉講座や認知症についての講話と演習体験、3日目は、地域人からの講話とインタビュー活動を行いました。昨年からの体験活動が実施できていなかった3学年は、この3日間、将来を担う地域人材として、共生社会を生きる貢献人として、多様な視点での学びを深める機会となりました。活動では、人懐っこい温かな3年生の雰囲気が講師の方の思いに応える発言や行動力を見せており充実した学習となりました。

2学年「プロフェッショナルに学ぶ」



活動1日目には、プロの職業人からの話を聞き、2日目には、町内10事業所へのインタビュー活動を行いました。活動を通して、「働く」ことについて、情報を収集し、その意義や職業観を追究しました。仕事がその人の生きがい、生き方となる人生観にも思いが深まる学びの機会となっています。生徒たちは、クロームブックをスムーズに操作し、学びのレポートづくりを楽しみながら作成しています。

